

# 種子島 西之表の学校の変遷

---

内城からはじまる 西之表の学校の歴史

2019年4月

西之表市教育委員会

## ■内城からはじまる 種子島の学校の歴史

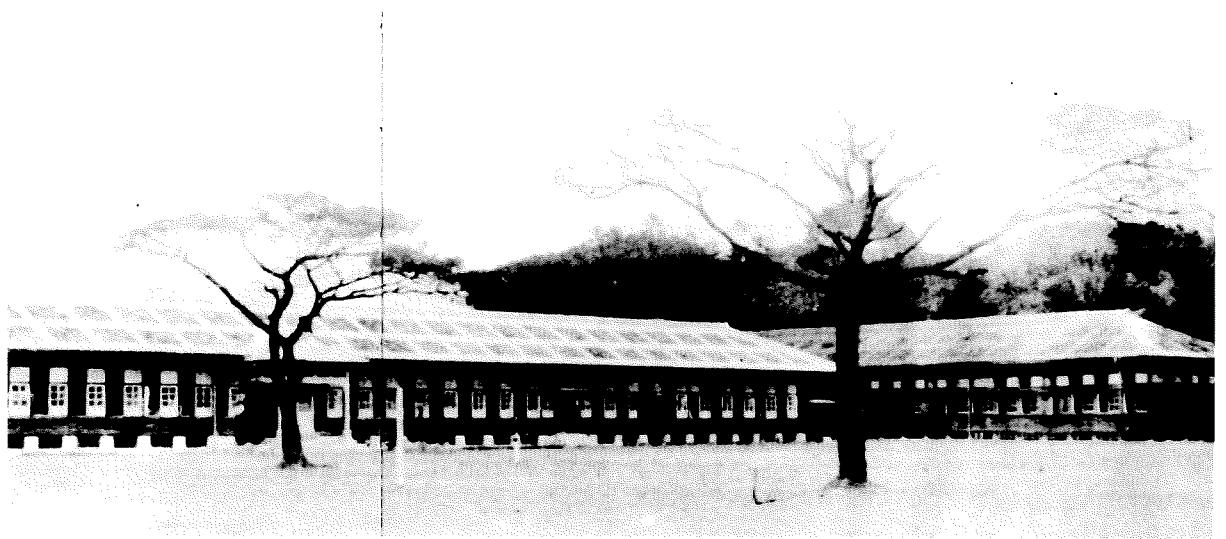
安政 4 年(1857)	4 月	松寿院により学校を内城に創建する。
明治元年(1868)	12 月	内城の館邸を学校に充つ。
明治 5 年(1872)	8 月	小学校教則発布により、変則小学校を旧城館跡に設ける。
明治 6 年(1873)	8 月	学校を県に統括。第七十三郷校を置く。
明治 9 年(1876)	1 月	女学校を本源寺東南の地に設置。
	9 月	第七十三郷校内に正則小学校を置く。(この日をもって榕城小学校の創立記念日とす。) 六歳以上十四歳までの児童を教授。
明治 11 年(1878)	5 月	第七十三郷校の正則科を分離して、榕城小学校と称す。 女学校を榕城小学校に合併する。
	10 月	第七十三郷校を廃し、公立種子島仮中学を設立。
明治 14 年(1881)	3 月	本校(榕城小学校)の新築に着手。 (初メ本校ハ第七十三郷校ヨリ分離シ其校舎ノ一半ヲ以テ教席ニ充テタリ ンカ生徒ノ員数ハ日ニ月ニ増加シ校舎ハ漸ク朽敗ニ赴ケルヲ以テ…新築 費ノ如キハ區民ノ課セス學校付属地売却金ヲ以テ之ニ充テリ)
	7 月	校舎の新築竣工、落成式を行う(榕城小学校)
明治 17 年(1884)	9 月	公立種子島仮中学、公立中学として許可されず。公立種子島学校と称す。
明治 20 年(1887)	12 月	榕城小学校を西之表高等尋常小学校と改める。
明治 23 年(1890)	4 月	公立種子島学校が私立種子島学校と改称。
明治 25 年(1892)		西之表高等尋常小学校を榕城尋常高等小学校と改称。
明治 29 年(1896)	8 月	学校改築行わる。改築経費 6,000 円。(榕城尋常高等小学校) (本校ハ明治十四年ノ構造ニシテ…) 校舎新築に付、仮教場、本源寺及び羽生習也養蚕室に設ける。
明治 30 年(1897)	1 月	仮教場を種子島学校内、羽生行蔵氏別荘、牧カメ住宅及び本源寺。(榕城 尋常高等小学校)
	3 月	高等科女子及び裁縫特科生を除外し新校舎へ移る。(榕城尋常高等小学校)
	6 月	校舎新築落成式(榕城尋常高等小学校)
明治 34 年(1901)	7 月	榕城尋常高等小学校より女子を分離して、女子榕城尋常高等小学校を設け る許可が出る。(現在の市役所の地)
	9 月	女子部の分離式を行う。
明治 35 年(1902)	1 月	北種子村立女子実業補習学校を創設。女子榕城尋常高等小学校に併設。
	11 月	女子榕城尋常高等小学校尋常科第 1 学年を新校舎に移す。
明治 37 年(1904)	3 月	私立種子島学校を組織変更し郡立となし、郡立種子島農林学校となす。位 置は榕城校に。
明治 38 年(1905)	4 月	女子榕城尋常高等小学校を本源寺東に分離。 北種子村立女子実業補習学校を北種子村立女子職業学校と改める。 種子島農林学校摺木田(城)に校舎新設。
	9 月	女子榕城尋常高等小学校、校舎が狭隘の為、高等科第 3.4 学年複式学級と

明治 38 年(1905)	記載無	尋常科第 2. 3. 4 学年の 3 学級とを仮教場（旧種子島学校址）に遷す。
明治 39 年(1906)	4 月	女子榕城尋常高等小学校、仮教場（旧種子島学校址）を廃する。
明治 40 年(1907)	11 月	女子榕城尋常高等小学校、増築落成式。
明治 41 年(1908)	9 月	女子榕城尋常高等小学校、本源寺を借用して裁縫教授仮室とする。
明治 42 年(1909)	12 月	北種子村立女子職業学校校舎落成。（市役所）
大正 3 年 (1914)	4 月	女子榕城尋常高等小学校、上西、下西尋常小を廃止し、榕城尋常高等小学校に合併。（女子児童は本源寺南校舎に学び、上西、下西に 4 年以下の分教場を置く。）
大正 4 年 (1915)	11 月	大正天皇御即位奉祝式記念事業として、校門に松櫻を植樹。（榕城尋常高等小学校）
大正 7 年 (1918)	4 月	北種子村立実業補習学校を榕城校に併設。
大正 10 年(1921)	4 月	北種子村立女子職業学校、榕城小の併設より離れ独立する。（場所記載なし）
大正 11 年(1922)	3 月	榕城小講堂落成。（164 坪）
大正 12 年(1923)	3 月	北種子村立実業補習学校を農業補習学校と改称。
	4 月	郡立種子島農林学校北種子村に移管。北種子村立種子島農林学校と改称。
大正 15 年(1926)	3 月	鹿児島県立第一鹿児島中学校分校設立。（榕城小講堂使用） （西之表市百年史より「設立当初は現在の榕城中学校の一隅の二教室をもって職員室と教室にあて、昭和 3 年現在地に校舎が新築された」と記録。）
	4 月	北種子村立女子職業学校を西之表町立女子職業学校と改称。
	7 月	西之表に青年訓練所を置く。
昭和 4 年(1929)	3 月	鹿児島県立第一鹿児島中学校種子島分校は独立し、鹿児島県立種子島中学となる。（現種子島中学校に校舎が新設された。）
昭和 5 年(1930)	5 月	西之表青年訓練所を西之表公民学校と改称。種子島農林学校に併設。
昭和 6 年(1931)	4 月	農業補習学校廃止。
	6 月	西之表町立女子職業学校の組織変更し、西之表町立実科高等女学校と改称。女子部校舎を男子部へ合併（榕城小）。前校舎を新築し男女全児収容。
昭和 8 年(1933)	3 月	町内公民学校を統一して西之表町立高等公民学校と称し、種子島農林学校に併置。
昭和 10 年(1935)	7 月	西之表町立高等公民学校を西之表町立青年学校と改称。
昭和 12 年(1937)	4 月	種子島農林学校を城より上ノ原に新築移転する。なお、西之表町立青年学校を同校に併設する。
昭和 14 年(1939)	4 月	西之表町立実科高等女学校を鹿児島県西之表高等女学校と改称。
昭和 16 年(1941)	4 月	各小学校を国民学校と改称。
昭和 17 年(1942)	3 月	鹿児島県西之表高等女学校増築 2 教室落成。
	7 月	鹿児島県西之表高等女学校を鹿児島県種子島高等女学校と改称。
昭和 18 年(1943)	4 月	鹿児島県種子島高等女学校を県立移管し、鹿児島県立種子島高等女学校となる。

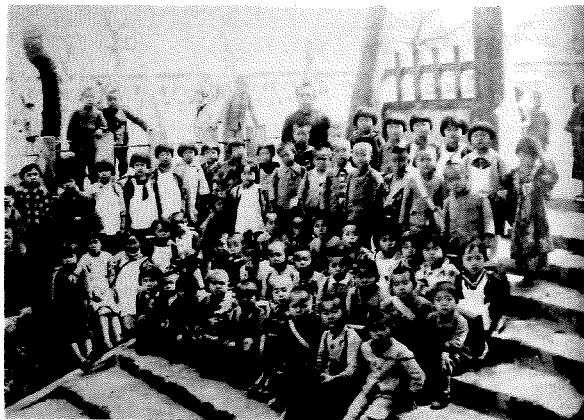
昭和 20 年(1945)	4 月	15 日 鹿児島県立種子島中学校校舎を種子島駐屯部隊兵舎として使用。 19 日 種子島中学校校舎全焼。 小学 3 年生以上の児童、大口へ疎開。
	8 月	終戦。
昭和 21 年(1946)	7 月	種子島農林学校を県に移管。鹿児島県種子島農林学校と改称。
昭和 22 年(1947)	5 月	学制改革により西之表町立榕城中学校創立。榕城小の高等科を移す。(榕城小の校舎の一部を借りて授業をすすめる)
昭和 23 年(1948)	3 月	鹿児島県立種子島中学校校舎落成。 西之表町立青年学校廃止。 榕城小学校、給食実施に施設建築開始。
	4 月	鹿児島県立種子島農林学校を種子島高等学校第 1 部。 鹿児島県立種子島中学校を種子島高等学校第 2 部。 鹿児島県立種子島高等女学校を種子島高等学校第 3 部。 新設の定時制高等学校を種子島高等学校第 4 部と称す。
	5 月	種子島高等学校第 3 部新校舎、内城に 5 教室落成。第 1 次移転。
	4 月	高等学校 4 部制を改める。 種子島高等学校第 1 部を鹿児島県種子島農業高等学校と称し、第 4 部の定時制を併設。 種子島高等学校第 2 部、3 部を合わせて、鹿児島県種子島高等学校と称す。
昭和 24 年(1949)	6 月	デラ台風。旧種子島高等学校第 3 部校舎(内城)東側半分倒壊。
	9 月	鹿児島県種子島高等学校(男子部)に女子部普通科を収容。男女併学実施。
	10 月	鹿児島県種子島高等学校北校舎落成。
	12 月	榕城中学校、旧種子島高等学校第三部(女子部)の校地、5498 坪、校舎 131 坪、便所 16 坪、宿直室 16.5 坪を県より 150 万円で譲渡、移転。
	5 月	種子島高等学校特別室竣工。男女併学より、男女共学となる。 榕城中学校、第 1 期工事 115 坪の起工式。
昭和 25 年(1950)	8 月	榕城中学校、第 1 期工事 115 坪竣工。工費 149 万 5,000 円。
	9 月	榕城中学校第 2 学年 4 学級、榕城小より移転。
	4 月	種子島農業高等学校全日課程に女子農業科新設。
昭和 26 年(1951)	5 月	榕城中学校、第 2 期工事に着工。
	11 月	種子島高等学校の講堂及び料理室竣工。
	11 月	榕城中学校、第 2 期工事 228.5 坪竣工。工費 375 万円。榕城小に分散授業の生徒全員を収容。 榕城小学校、講堂に鉄筋支柱を入れ復旧。東校舎を改築。
	4 月	榕城中学校、第 3 期工事に着工。
昭和 27 年(1952)	12 月	榕城中学校、第 3 期工事 206 坪竣工。工費 377 万 4,000 円。
昭和 28 年(1953)	3 月	種子島高等学校 化学教室落成。
	8 月	種子島高等学校、旧寄宿舎食堂を修繕して柔道場となす。

昭和 28 年(1953)	11 月	榕城中学校全校舎竣工する。建坪 625 坪。総経費 1,003 万 7,500 円。
昭和 29 年(1954)	3 月	榕城小学校、改築第 1 期、東校舎を解体し、鉄筋コンクリート 2 階建 240 坪工事起工。水道設備を行う。
	7 月	榕城中学校、水道施設完工。
	10 月	榕城小学校、第 1 期工期完工。
昭和 30 年(1955)	9 月	種子島高等学校柔道場含む旧寄宿舎倒壊。 種子島農業高校東半分及び農具舎倒壊。 榕城小学校、西南校舎を改築。(250 万円)
昭和 31 年(1956)	4 月	県教育委員会の決議により鹿児島県立種子島高等学校・鹿児島県立種子島農業高等学校となる。
	6 月	種子島高等学校体育倉庫竣工。
	7 月	榕城小学校、第 2 期鉄筋校舎竣工。(160 坪)
昭和 32 年(1957)	3 月	種子島農業高等学校校舎復旧工事起工式。
	5 月	榕城中学校、ブロック 2 階建 4 教室竣工。工費 250 万円。
	9 月	種子島農業高等学校、校舎、音楽室、便所完成。
昭和 33 年(1958)	2 月	種子島高等学校、寄宿舎明善 開設。
	4 月	種子島農業高等学校定時制教室(4 教室)落成。
	10 月	市制施行。西之表市立榕城中学校・西之表市立榕城小学校となる。
	12 月	種子島高等学校、図書館竣工。
昭和 34 年(1959)	4 月	種子島農業高等学校、鹿児島県立種子島実業高等学校と改称。
	9 月	榕城小学校、第 3 期鉄筋校舎竣工。(133 坪・678 万 4,000 円)。給食室 33 坪、パン工場 18 坪。(270 万円)
	12 月	榕城中学校、僻地集会室(講堂)建設工事開始。 (榕城中学校 30 周年記念誌には昭和 35 年 3 月と書かれている。)
	1 月	榕城小学校、パン工場より出火。工場全焼。(18 坪)
昭和 35 年(1960)	4 月	榕城小学校、パン工場コンクリート建 21 坪再建。(1,170 万円)
	6 月	榕城中学校、僻地集会室落成。
	3 月	榕城中学校、鉄筋 3 階建 8 教室竣工。
昭和 36 年(1961)		榕城小学校、鉄筋 2 階建 101 坪(4 教室)増築。
	4 月	榕城中学校、鉄筋 3 階建(6 教室)竣工。
昭和 37 年(1962)	6 月	種子島高等学校、校舎鉄筋 2 階建 第 1 期工事竣工。 榕城小学校、鉄筋 2 階建 191 坪(6 教室)増築。
	6 月	種子島高等学校、校舎鉄筋 2 階建第 2 期工事竣工。
昭和 39 年(1964)	9 月	種子島高等学校、台風により寄宿舎全壊。 榕城小学校、鉄筋 2 階建 186 坪。(校長室・事務室・放送室・3 教室。1080 万円)
	5 月	榕城中学校、給食室ブロック建 32 坪竣工。

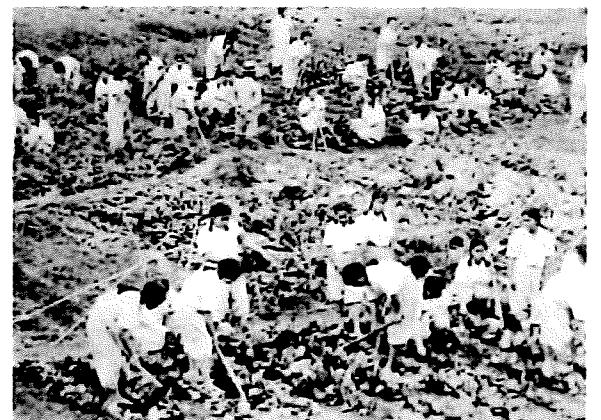
昭和 40 年(1965)	6 月	種子島高等学校、男子寄宿舎鉄筋ブロック竣工。
	7 月	榕城中学校、鉄筋 3 階建 5 教室竣工。
	8 月	榕城中学校、ブロック建便所 2 棟竣工。榕城小学校、鉄筋 2 階建 124 坪増築。(職員室、3 教室、階段、887 万 5 千円)
昭和 41 年(1966)	3 月	種子島高等学校、校舎鉄筋 2 階建第 3 期工事竣工、女子寄宿舎竣工。
	5 月	種子島実業高等学校、本館鉄筋 3 階建 571 坪完成。
	12 月	種子島高等学校、特別教室鉄筋 2 階建第 4 期工事竣工。 榕城小学校、新講堂落成。(250 坪、1,800 万円)
昭和 42 年(1967)	2 月	種子島実業高等学校、体育館落成。273 坪、2,347 万円。
	3 月	種子島高等学校、特別教室鉄筋 2 階建第 5 期工事竣工。
昭和 43 年(1968)	8 月	種子島高等学校、体育館完成。 榕城小学校、補助プール竣工。(PTA 寄贈、90 万 3450 円)
昭和 44 年(1969)	3 月	榕城小学校、パン工場閉鎖。
昭和 48 年(1973)	6 月	榕城中学校、給食室前渡り廊下完成。
昭和 50 年(1975)	11 月	榕城中学校、学校建築工事に着工。
昭和 51 年(1976)	5 月	榕城中学校、渡り廊下完成。(後校舎と前校舎、後校舎と講堂)
	7 月	榕城中学校、校舎落成。
	8 月	榕城中学校、新校舎完成移転。(鉄筋 3 階建 普通教室 4、特別教室 8、その他 11。面積 1,910 m <sup>2</sup> 、工費 1 億 4320 万円)
	10 月	榕城中学校、旧校舎解体工事が終了し、運動場が広くなる。
昭和 52 年(1977)	3 月	榕城小学校、特別教室(理科・音楽・家庭・視聴覚・児童会)、体育倉庫、便所など完成。(6950 万円、266 坪)
昭和 55 年(1980)	3 月	榕城中学校、校庭整備事業竣工。(780 万円)
昭和 58 年(1983)	9 月	榕城小学校、大規模改修工事完成。
昭和 59 年(1984)	9 月	榕城中学校、大規模改修工事完成。
昭和 63 年(1988)	2 月	榕城中学校、校舎新築事業完成。
平成 13 年(2001)	3 月	榕城小学校、新校舎・屋内運動場竣工式を行う。
平成 14 年(2002)	8 月	榕城小学校、新校舎・屋内運動場工事に伴う埋蔵文化財試掘調査実施。
平成 18 年(2006)	4 月	(旧)種子島高校と種子島実業高校の統合により、(新設)鹿児島県立種子島高等学校開校。(普通科 生物生産科 電気科)
平成 20 年(2008)	3 月	(旧)種子島高校 閉校。(創立 82 年、旧高女 106 年)
	3 月	種子島実業高校 閉校。(創立 104 年)
平成 21 年(2009)	3 月	西之表市立榕城中学校 閉校。(創立 62 年)
	4 月	西之表市立種子島中学校開校。西之表市内の榕城中・国上中・現和中・安城中・古田中・住吉中の 6 中学校を統合して旧鹿児島県立種子島高等学校の校舎を増築・改修し、西之表市唯一の中学校として開校。



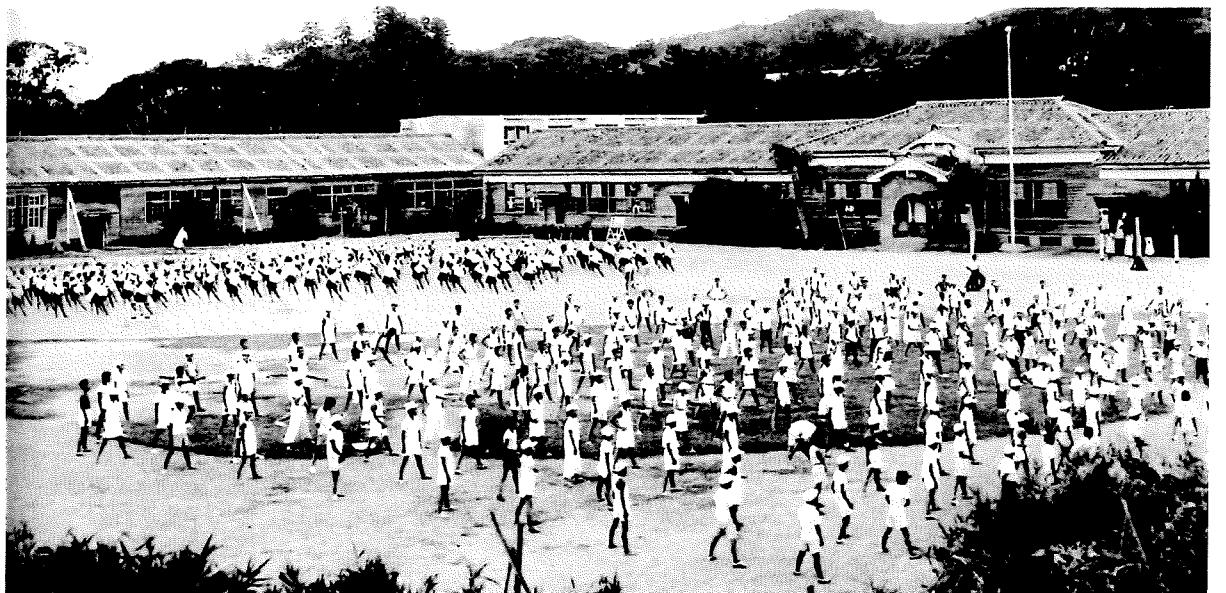
大正9年(1920年) 榕城尋常高等小学校



昭和8年(1933年) 榕城尋常小学校正門



昭和22年(1947年)頃 榕城中学校敷地【内城址】



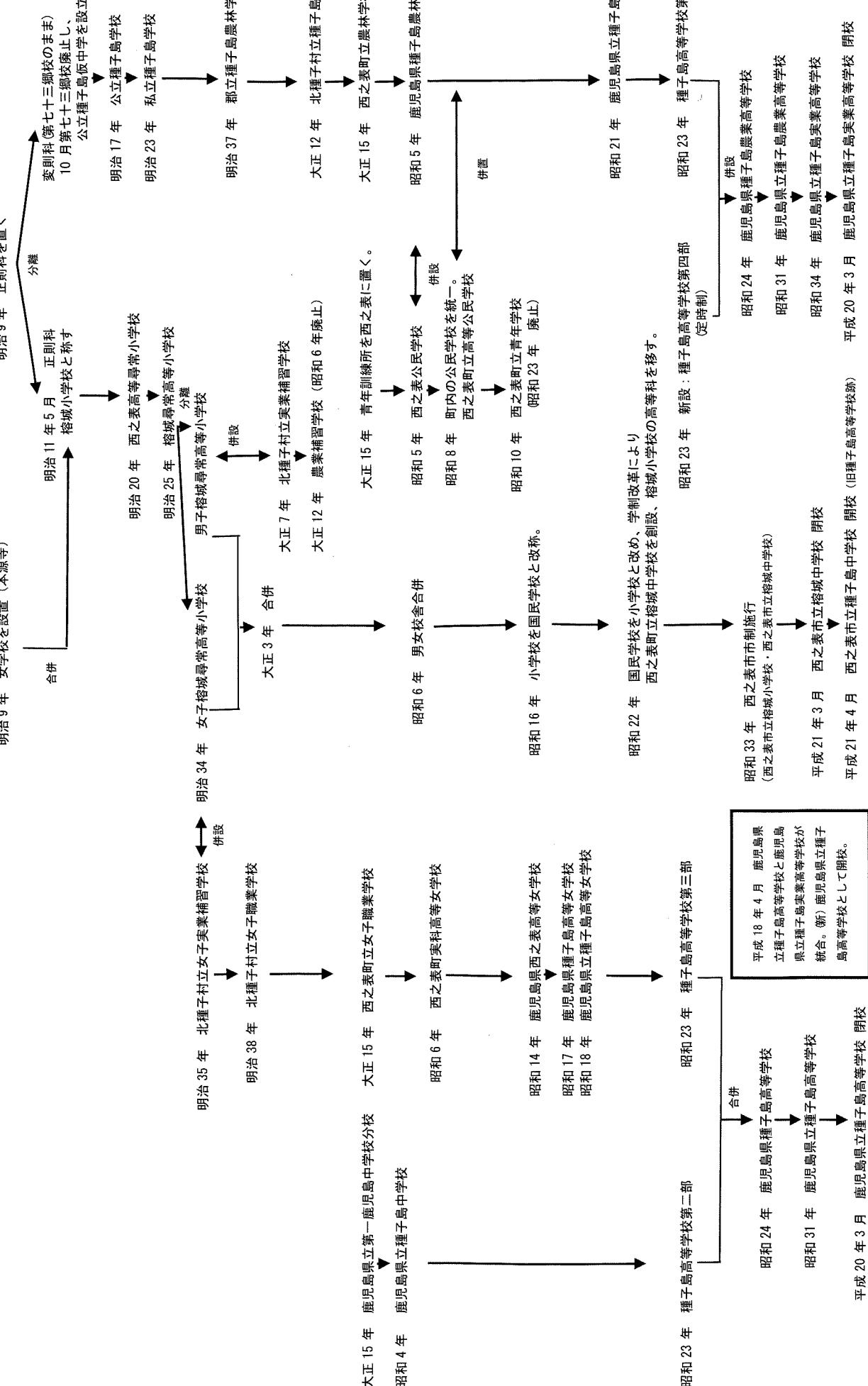
昭和30年代(1955~1964年) 榕城中学校【内城址】

明治元年 内城の館邸を学校に充つ

明治5年 変則小学校(旧城館跡)

明治6年 第七十三郷校(変則科)

明治9年 女学校を設置(本源寺)



## ■内城についての記述 参考文献より抜粋

一. 我島學校ノ起因ハ安政四年ニシテ創メテ校舎ヲ内城ニ建テシヨリ之ヲ御下屋敷又ハ御城ノ址ニ轉セシカ如キ爾來幾多ノ変更ヲ経テ明治九年ニ至レリ此ノ十八年間ニ於ケル教育上ノ沿革頗多カルヘシト雖記録散逸シテ之ヲ微スルニ由ナク唯當時ノ在職者ニ質シテ其一斑ヲ錄セリ

榕城尋常高等小学校沿革史

第1号（自：創立 至：大正8年）より

その当時の学校は西之表市役所の場所にあり女学校です。

現在中学校（榕城中）のある場所は梨園でした。（種子島高等女学校 昭和18年卒業）

入学から卒業まで学校は今の市役所の所にありました。…上級生の入っている新校舎へ早く入りたいと思うものでしたが、…。

二年生の頃は、内城（今の榕中）の土手の藪払いや雑木の切り方、戦地へ送る乾燥野菜作りなど…

（種子島高等女学校 昭和21年卒業）

鹿児島県立種子島高等学校

創立80（旧高女105）周年記念誌「黒潮」より

### (参考文献)

学校沿革史 熊毛郡北種子村立女子榕城尋常高等小学校	明治42年
小學校要覽 榕城尋常高等小学校	明治44年
榕城尋常高等小學校沿革史 第1号	大正8年
郷土読本 あかおぎ 創立80周年記念 榕城小学校	昭和31年
学校要覽 西之表市立榕城小学校	昭和35年
西之表市年表 西之表市役所	昭和43年
西之表市百年史 西之表市役所	昭和46年
西之表市教育年表 西之表市立種子島博物館	昭和46年
希望 榕城小学校創立百周年記念誌	昭和52年
鹿児島県立種子島高等学校 創立60(旧高女85)周年記念誌	昭和62年
鹿児島県立種子島高等学校 創立70(旧高女95)周年記念誌 黒潮	平成9年
鹿児島県立種子島高等学校 創立80(旧高女105)周年記念誌 黒潮	平成19年

本書は、文化庁及び鹿児島県の補助を受け、平成 31 年（2019）3 月に西之表市教育委員会が刊行した西之表市埋蔵文化財発掘調査概報「市内遺跡発掘調査等事業「内城址・上能野貝塚」の内城址、学校関係について補足資料を再編集し、まとめたものである。

なお、内城址の詳細については、西之表市埋蔵文化財発掘調査概報「内城址・上能野貝塚」に記載している。

## 種子島西之表の学校の変遷

### 内城からはじまる 西之表の学校の歴史

発行日 平成 31 年(2019) 4 月

編 集 西之表市教育委員会

種子島開発総合センター 沖田純一郎

〃 元吉 真澄

発 行 種子島開発総合センター

〒891-3101

鹿児島県西之表市西之表 7585 番地

TEL 0997-23-3215